


特別支援学級 実践事例

校種(学級の種別)	小学校 (知的障がい特別支援学級)	本事例の教科等名	自立活動
在籍児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面では、くり返し学習しても覚えることができない。 ・生活面では身だしなみを整えることや授業に必要なものを準備すること、持ち物を管理することができない。 ・相手の気持ちを考えることが難しく、その場に合った言葉を考えて使うことができない。 ・都合が悪くなると何も言わなくなる。 	<p>目標・指導内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手とのコミュニケーションのとり方について適切な方法を知る。 ・いろいろな気持ちを表す言葉を知り、表現することができる。 ・表情や場面の状況から、相手の気持ちを考えることができる。
指導の経過・工夫点・子どもの変容(*)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【めあて】 どんなことばをかけるとよいか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【課題】 相手も自分も気持ちよく過ごすにはどんなことばをかけるとよいのかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ●生活の中での出来事を振り返る。 ○言葉を出し合うことができるよう、知っている言葉を出し合い、カードに書いて提示する。 ●絵を見てどんな場面かを話し合い、絵の中の人物はどんな気持ちなのか考える。 ○背景や人の他に描かれている物にも注目し、どんな場面か分かる手がかりを見つけさせる。 *絵の中の細かい部分にも注目し、どんな場面か、どんな気持ちかを考えるようになる。 ○自分に置き換えて考えられるよう、生活の場面に結びつけて考えさせる。 *自分だったらどんな気持ちか、自分がその場にいたらどんなことばをかけるか考えるようになる。 ●話し合った会話を実際にやってみて、自分や相手の気持ちを考える。(ロールプレイ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【まとめ】 相手の気持ちを考えてことばをかけることで、自分も相手も嬉しいきもちになる。</p> </div> <p>【ふり返し】</p> <p>「相手が喜ぶことばをたくさん使って、みんなをにこにこさせたい。」</p> <p>「困った人には「どうしたの?」と言って安心させてあげたい。」</p> 		

成果と課題・ 今後の方向	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">・友だちと過ごす中で、相手にかけるとよい言葉を知り、実際に使うことができている。・相手の表情を見て感じ取ったり、周りの状況を見て相手の気持ちを想像したりしようとする姿が見られている。・自分に起こった出来事や、自分の気持ちを上手く話せない時は、授業で使った場面の絵の中から同じ内容の絵を自分で選び表現しようとしている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・異学年が集まり、学習の到達度も全く違う現状で行う授業では、誰でもが見やすく、わかりやすい板書にする工夫が必要である。・コミュニケーションに関しては、支援学級のための指導では不十分なため、その子に関わる方々にも協力を求めたり、支援学級以外で過ごす時間にも、相手との関わり方や状況を見ながら上手く支援したりすることが大切である。
-------------------------	---